

議 平生町 議会だより

第178号
2025年10月24日

9月議会報告
9月定例会9/10~24(15日間)



みんな全力で勝負だ!! (佐賀小運動会応援風景)

主
な
内
容

定例会・常任委員会審査報告・決算特別委員会 ほか…………… P. 2~4

いっぱい質問 4人 …………… P. 5~8

町内での平和学習の現状と今後 / 上関町における使用済み核燃料の中間貯蔵施設について / 図書館について / 来年度の予算編成は / 猛暑対策を問う / 農業に関する地域計画の取組 / 地域医療について /

議会の動き・研修視察報告 ほか…………… P.8~10

一般会計予算 65億7,658万5千円に 特別会計などを含めた予算総額は109億7,860万6千円に

令和7年第7回（9月）定例会は、9月10日から24日までの15日間の会期で開かれました。上程された補正予算4件、条例1件、認定7件、同意1件は、最終日の24日に全て全会一致で可決・認定されました。



一般会計補正予算の概要

(単位：千円)

主な歳入		主な歳出	
補正額	項目	補正額	項目
△ 537	地方特例交付金	94,605	財政基金積立金
△ 35,223	地方交付税	3,884	負担金 共同運航事業
262	分担金及び負担金	9,941	国民健康保険事業勘定特別会計繰出金
1,165	国庫支出金	165	障害者自立支援給付審査支払等システム改修
7,693	県支出金	700	時間外勤務手当等
29,757	財政基金繰入金	32,985	過年度国県返還金
139,209	繰越金	4,200	農業用水路等長寿命化・防災減災事業
7,771	諸収入	1,056	里山等整備支援事業
		△ 3,739	中学校費 給食費

65億7,658万5千円
予算総額
1億5,009万7千円増
補正額

一般会計補正予算(第3号)

国民健康保険事業勘定特別会計補正予算

交付税確定に伴う財政安定化支援事業の繰入金増額と令和6年の繰越金などを国民健康保険事業基金へ積み立てるもの。

介護保険事業勘定特別会計補正予算

国庫支出金、繰越金の5,815万2千円うち、基金に2,848万円を積み立て、国庫支出金等過年度分返還金等にあてるもの。

条例改正

▽職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例

▼令和7年10月1日施行の地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律に対応し、町職員の部分休業制度の拡充と、仕事と育児の両立支援制度を利用しやすい環境を整えるもの。

同意

▽平生町教育委員会委員の任命

▼伴 浩一氏を再任

一般会計補正予算(第4号)

庁舎敷地内の未整備箇所を防災拠点に再編し「防災公園等整備事業」として本年度から令和10年度までの期間に整備するため、18億6,000万円を限度額として債務負担行為を追加するもの。

常任委員会審査報告

総務厚生

本会議から付託された案件の審査を9月17日に行い、全て全会一致で可決すべきとなった。

主だった質疑は、情報政策費、委託料のデジタル活用支援員育成業務の内容と効果についてであった。県事業のメニュー変更があり、加えて支援員の減少から、支援員のスキルアップと新たな支援員の確保に努めていくこととしての内容の見直しとの回答があった。相談コーナーは利用者も

産業文教

増え、効果があると感じている。また、夏休みを利用して中高生ボランティアも参加。その丁寧な説明で利用者から分かりやすかったという感想もあった。

本会議から付託された案件の審査を9月18日に行い、全て全会一致で可決すべきとなった。

主だった質疑は、土地改良事業費の工事請負費の農業用水路等長寿命化・防災減災事業について、ため池の切開工事は今後も計画しているのかとの問いがあった。ため池は、町内に143か所、町所有は11か所である。現段階で計画しているものは、補正予算に計上している今井地区の神出ため池のみである。今後、地元の方からため池の切開の要望があれば、新たに計画に加えた上で、切開事業を進めていくことになるとの回答があった。

臨時会 8月1日

令和7年第6回臨時会は8月1日に開かれました。
上程された補正予算1件、承認2件は全て全会一致で、可決・承認されました。

一般会計補正予算

▽補正額

981万円増

予算総額

64億2,648万8千円

▽国庫支出金、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を、未就学児子育て応援給付金事業費にあてるもので、一人あたり3万円の給付。

専決処分の承認

▽一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

▽下水道維持管理手当の月額支給額、500円を300円に改めるもの。

▽固定資産税の不均一課税に関する条例の制定。

▽平生町の半島振興対策実施地域及び離島振興対策実施地域における固定資産税の不均一課税を、旧条例が失効した後も条例の効力を継続させるため、令和7年4月1日からの適用とするもの。

決算特別委員会

9月12日・16日

令和6年度一般会計決算

歳入 64億8,383万9,775円

歳出 62億5,125万2830円

令和6年度一般会計決算、各特別会計決算および企業会計決算は、審査の結果、全会一致で認定すべきとなりました。

一般会計決算の主な質疑

歳入

質問

令和6年度の納期内納税推進による収納率の向上、e-TaxやeLTAxの推進について利用件数が増加している理由を聞く。

答弁

収納率については、税目別収納率というところで、収納率を計算している。e-TaxやeLTAxについては令和6年度は119件で、31件の増となっている。

質問

町民税のうち、個人が減額、法人が増額しているが、どのように分析しているか。

答弁

個人の町民税の減額は、定額減税の影響があったと考えている。法人については、景気の動向に影響を受けるものと考えられる。

歳出

質問

起業支援について、WEB制作・ライティングとあるが、これはどのような業種の起業なのか。

答弁

ホームページなどを作成する支援や、ホームページを1回作成したが、更新するのが難しい時、サポートする内容。

質問

渡船料を見ると利用者がかなり減っている。現状と将来的にどうするのか。

答弁

なかなか厳しい現状があるが、今後どのように進めるか、地域の方ともよく話し合っていく。



利用者の減少が心配される渡船



平生町で暮らすきっかけに

質問 移住支援事業で、お試し住宅の利用が増えている。今は佐賀地区のみだが、今後空き家の活用も含め、他の地域にもお試し住宅を設置する予定はあるか。

答弁 移住体験は、成果も徐々に上がっている。現段階では体験住宅のPRに注力している状況である。

質問 町の公式LINEについては、これはホームページの方と連動させて管理しているのか。一括でSNS活用ツールとして、取り組んでいるのか。

答弁 通常のLINEにおける通報システムは、そこからリンクさせて、該当ページにつながり、利用しやすく工夫している。

質問 町内で電気自動車を使っている人は、どのくらいいるか。

答弁 数値としては把握していない。

質問 オリブオイルを町外に配布したとあるが、町外はどこに配布したのか。また、その反応は。

答弁 試作品ができて、それを町内の飲食店や町外は、地域素材を使って料理を提供しているホテルなどへ配布した。その中で、ホテルの方から興味を示され、来



町内の急速充電は本庁舎前で！

質問 町されて協議した事例もある。

質問 サテライトオフィス誘致推進補助金について、当初予算にはあるが、決算書に計上がないのは、なぜか。

答弁 サテライトオフィス誘致推進補助金を計上したが、令和6年度は、実績がなかったため。今後も、企業誘致の1つの形として、県の企業誘致担当とも連携し、情報共有を図り、

監査委員決算審査意見（要旨）

令和6年度の決算収支状況は、実質収支額はほぼ横ばい、単年度収支は黒字となったものの、実質単年度収支は赤字幅が縮小したとはいえ引き続き赤字となっている。決算額は、繰越事業費の影響などから増加している。歳出では繰越事業費による増加のほか、自治体情報システム標準化経費や児童手当など制度拡充に伴う増加などもあり扶助費も増加している。

事業の経営等の審査において、提出資料はPDCAサイクルに基づいて作成され、その精度もかなりの進歩が見られたが、数値による現状の把握や効果の分析が不十分な点が見受けられるなど、改善の余地があるため今後に期待する。事業の実施に当たっては、第五次平生町総合計画の「計画の進行管理」に示されている通り、成果指標や行政評価等を意識して取り組まれない。

2024年産です



試作品の平生産オリーブオイル

質問 積極的に進めていきたい。教育振興費扶助費の不用額が大きいなどのような要因か。

答弁 就学援助に関係するものだが、最終的な金額が増減する可能性があるため。



原 真紀 議員
はら まき

いっぱん質問



が聞きたい

質問 町内での平和学習を考える

答弁 地域に残る戦争の歴史を継承していく

質問

①近年の平生町内の小学校、中学校では、平和教育・平和学習への取り組みは、どのように計画・実施されているか。

②これからの阿多田交流館の活用を含め、町内での平和教育・平和学習をどのように計画されているか。

再質問

私が訪れた国立広島原爆死没者追悼平和祈念館では、体験朗読ボランティアや体験伝承者の派遣を行っている。それを活用し、今後も大人も子どもも共に学ぶ環境を作ることが提案したいがどうか。

答弁

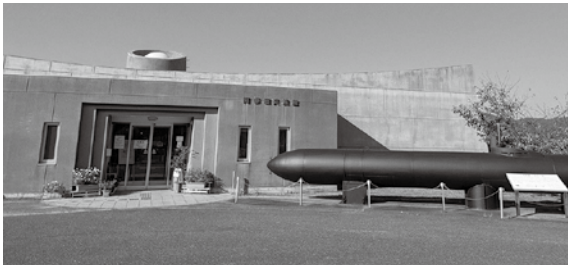
教育長

①社会科や総合的な学習の時間で実施している。

②この地域に残る戦争の歴史を確実に継承し、事実に基づく学びを通して命の尊さ、人権尊重、多様性の理解の深化につなげていく。

再答弁

提供いただいた情報については、学校にも伝え、活用できる範囲で検討していきたい。



平和学習の拠点である阿多田交流館

質問 アンケートの結果をどう受け止めるか

答弁 町民の声を尊重する

質問

①1市3町首長会議での最近の協議内容は。

②町内で上関の中間貯蔵施設計画についての自治会アンケートが実施され反対75%という結果が町長に報告された、どう受け止めるか。

③「上関の中間貯蔵を考える平生町民の会」からの申入れへの対応は。

④資源エネルギー庁への訪問は、いつか。

⑤立地可能性調査結果の報告内容は。

⑥平生町は、予定地から10km圏内に入る集落もある。事故が起これば同等の被害を受け

る。その場合の住民の避難、生活の保障などは、だれが責任者となるか。

答弁

町長

①5月28日に開催した1市3町首長会議で、それぞれが資源エネルギー庁を訪問することを確認し、住民の声など現状を伝えることを確認している。

②町民の声を尊重し、真摯に受け止める。

③1市3町の首長会議で共有し、協議していく。

④資源エネルギー庁への訪問は、未定である。

⑤9項目の調査では、立地に支障となるデータはないので、立地可能であると判断した報告を受けた。

⑥中間貯蔵施設は、避難計画策定義務はない。生活の保障は、事業者が賠償などの責任を負う。その上で、国や県、町がそれぞれの役割を分担して責務を果たしていく。



細田 留美子 議員
ほそだ るみこ

質問 図書館をまちづくりの拠点に

答弁 関係部局と連携する

質問

2期目の公約に図書館などの文化ゾーンの再整備とある。計画では令和8年度から12年度に建て替え予定となっている。

町長の描く図書館像と建て替えの進捗を質問する。

新しく教育長が就任された。図書館への認識と基本方針など見解を聞く。

再質問

図書館には地域課題に対するサービスとして、政策決定などに必要な資料、情報を提供する機能もある。これを活用できれば町の各種計画などで住民の意見を求めるパブリックコメントや審議会委員への応募が活発になる。

共に考え共に創る協働のまちづくりの拠点にできないか。

答弁 町長

公約に掲げた文化ゾーンの整備とは、現在の図書館周辺のスポーツ施設などを含めた整備のことである。

現在は、町立学校の施設整備についても検討している。この学校施設との複合化、共同利用を模索していきたい。

教育長

図書館は、誰もが安心して使いやすく、思わず足を運びたくなる施設とサービスを目指していく。

再答弁

現行施設は老朽化が進み、バリアフリーの観点からも改善が必要だ。おおむね7年後を目標とする施設一体型の小中一貫校の新設検討に合わせ、図書館との複合化を選択肢に位置づけ、教育・文化機能の相乗効果が最大化されるように、関係部局と連携して、具体化を進める。

質問 来年度の予算と財源はどうか

答弁 情報収集に努め、共通認識の下に進める

質問

来年度の予算は総合計画の折り返しにあたる。

また、町長の公約の実施に向けた大事な予算編成ともなる。

来年度のテーマと重要施策は何か。各課への指示はどのようにしているのか。

再質問

予算は、その年のまちづくりの姿を決める大切なものだ。

実行するための財源確保は大丈夫か。



わが町のまちづくり指針

答弁 町長

現在実行結果をまとめ、実行計画の見直し作業を進めている。

地域防災力の強化については、町民が抱く災害への不安を少しでも軽減させるための取り組みを推進していく。

少子化対策は、こどもの医療費の無償化や妊産婦の支援、今年度においても、安全に学校給食を提供する取組みとして、田布施町との共同調理をスタートした。

学校給食の無料化に取り組んでいる。

再答弁

財源は、国の予算編成を注視し、情報収集に努めるとともに、幹部職員に対して、しっかりとビジョンを示して、共通の認識の下で来年度の予算編成作業を進める。



中本 敦子 議員
なかもと あつこ

質問 猛暑対応と健康管理は

答弁 熱中症対策を徹底する

質問

①炎天下の小学校低学年の下校時の対応はどのようなものか。その他、学校関係の猛暑対策を聞く。
②高齢者、同居生活者への配慮はどのようなものか。
③冷房の入った庁舎内から作業現場へ移動することにより、健康面に支障をきたすことはないか。



答弁 教育長

①「登下校の熱中症対策について」とする文章を保護者宛てに発出し、冷感タオルや日傘等の熱中症対策製品の使用を認めている。
児童生徒が安全安心に学べる環境確保に努める。

町長

②支援を必要とする独り暮らしの高齢者の情報が寄せられた場合は、保健師などの町職員と関係機関が訪問し、熱中症予防の声を行っていきます。
③建設課では熱中症ガイドを作成し、職員に対して冷却キットを配布している。
産業課では、時差出勤を活用し朝方に作業し暑さを避ける工夫をしている。
余裕を持った計画休憩の確保、小まめな水分、塩分補給など対策を講じ安全を確保する。

質問 農業に関する地域計画の取組は

答弁 できる限り対策、対応する

質問

①座談会が6月4日から6月18日の間に4か所を対象に開催し、意見が出た。今後どのように地域計画に反映していくのか。
②国は農地の基盤整備をし、儲かる農業に長年取り組んできた。しかし、近年の米不足もあり食料は自国で賄えるように舵を切った。農地集約、大区画化、スマート農業、地域を守る、環境を守る、水路の補修、基盤整備などの必要性を重要視している。

答弁 町長

①これからの農業はこうしたいと意見をまとめてもらえれば町としてもできる限り対策、対応をしたい。
②地域計画は全国一律でつくるものである。国で今の農業の状況を把握するための大きな基礎資料となっている。
後継者が決まっていない農地があることを国も重く受け止めておりこれに対する事業が今後新たに創設されると考えている。
③今年度、第2回目の座談会開催を予定している。時期については11月を予定している。広報やホームページなどでしっかり周知できるように努めていく。



岩本 ひろ子 議員
いわた ひろこ

質問 地域医療について

答弁 地域の実情や特性に応じた行政サービスの提供

質問

① 新型コロナウイルス感染症の拡大を機に、国民の健康維持や医療提供体制の確保のためオンライン診療が広く認められるようになった。

これはスマホやパソコンのビデオ通話機能を利用し、自宅からでも診察を受けられるものだ。オンライン診療を町民に浸透させ普及させていく取組みについての考えを問う。

② オンライン診療の利用にかかる費用に対し、これからの費用を町が何らかの形で助けられる補助金や助成金などの導入については、考えているか。

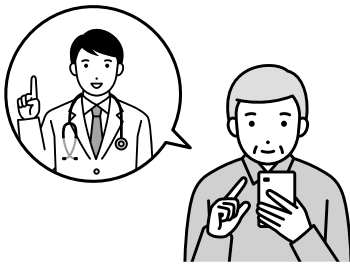
③ 自宅にインターネットWi-Fiがない方のために公共施設でオンライン診療ができるスペースを設けることはできないか。

答弁

町長

オンライン診療に向けた取組みは、現時点ではない。経済的支援や環境整備についても、現時点ではない。しかし、住民の利便性を図る上で、地域医療と行政がどのような形で融合できるか、地域の実情や特性に応じた行政サービスの提供を行う必要性があると考えている。

現在、他の自治体の先進事例など、情報収集に取り組んでいる。引き続き地域の実情や特性に応じた情報の収集に努めていく。



議会の動き

- | | | | |
|----------|---------------------|-------|--------------------|
| 6月16～24日 | 令和7年第5回定例会 | 7月16日 | 柳井地区広域消防組合議会第1回臨時会 |
| 6月24日 | 議会全員協議会 | 7月17日 | 議会広報広聴調査特別委員会 |
| 6月30日 | 議会広報広聴調査特別委員会 | 8月1日 | 令和7年第6回臨時会 |
| 7月1日 | 柳井地区広域市町議会議員研修会 | 8月20日 | 山口県町議会広報研修会 |
| 7月2日 | 柳井地域広域水道企業団議会第1回臨時会 | 8月28日 | 議会運営委員会 |
| 7月8日 | 議会広報広聴調査特別委員会 | 8月29日 | 議会全員協議会 |

(R7.6.16～R7.9.9)

研修報告

柳井地区広域市町議会議員研修会

【期日】 7月1日

【場所】 アニバーサリーステージ
ベルゼ (柳井市)

【報告】 『柳井市議会人口問題特別委員会における経過について』

【報告者】

柳井市議会人口問題特別委員会
委員長 中川隆志氏

【講演】 『山口県の移住促進や関係人口拡大について』

【講師】 山口県総合企画部中山間・
地域振興課主幹 神田直子氏

山口県では、15〜29歳の県外流出が顕著で特に女性の流出が多い。令和7年度の県の取組みは、移住に向けた支援や関係人口の創出・拡大とテレワークとワーケーションの一体的推進などに力を入れている。



わが町にとっての良策は何か！



全国の議員と研修する場

市町村議会議員研修

【期日】 8月7日〜8月8日

【場所】 JIAM全国市町村国際文化研修所(滋賀県)

【研修内容】 『自治体予算の原則と歳入歳出予算の基礎とそのチェックポイント』 財政の現状把握

①財政診断②地方公会計の活用

【講師】

武庫川女子大学 金崎健太郎氏
【受講者】 岩本ひろ子・中本敦子

地域の課題や住民のニーズを予算に盛り込むことで町民の生活がより豊かになるよう、この学びを予算・決算審議に活かします。

山口県町議会広報研修会

【期日】 8月20日

【場所】 セントコア山口(山口市)

【研修内容】 『少しは化けましたか!!全国のチャレンジ広報に学ぶ』

【講師】

議会広報ファシリテーター

越地真一郎氏

【受講者】

議会広報広聴特別委員会6名

県内6町の議会だよりが前もって配布され、それを基に当日意見交換会を行った。講師による指導を参考にみなさんが手に取りたくなる、読みたくなる議会だよりを目指して、努力していくことを委員全員が決意した。



どうやって、化けようか？

総務厚生常任委員会視察

【期日】 9月17日

【場所】 平生町社会福祉協議会

【調査内容】

地域福祉の現状と課題について

平生町社会福祉協議会の木本事務局長より予算など財政の現状は、厳しさを増しているとの説明を受けた。町とのより一層の協働で、町民のみなさんが住んで良かったと思えるまちを目指して、委員会としても取組んでいきたいと感じた。



町民の福祉を考える！

議会広報広聴調査特別委員長を交代しました。

赤松委員長が病気療養のため7月16日に辞職願を出され、議長が7月18日に受理されました。そのため、広報委員長を交代しました。



赤松義生
元委員長



原 真紀
新委員長

不慣れな点が多く、不安もあります。他の委員のみなさんと力を合わせてがんばります。町民の方へ議会の内容や議員活動について分かりやすく、読みやすい広報になるように、努力します。町民のみなさまからの感想もお待ちしております。どうぞよろしくお願いたします。

令和7年12月 定例会会期 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
7	8	9	10	11	12	13
				本会議	本会議	
14	15	16	17	18	19	20
	産業文教委員会	総務厚生委員会			本会議	

*本会議・委員会ともに9:00開会です。

*日程が変更となる可能性がありますので、議会事務局までお問合せください。

赤松義生元議員(71)が10月4日逝去されました。
ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

平生町議会
議員一同

お詫びと訂正

議会だより第177号(8月1日発行)の掲載記事に誤りがありました。

なお、ホームページ上のPDF版は訂正後の記事を掲載しています。

訂正箇所	正	誤
3ページ 議会運営委員会 委員紹介個人名称	河内山宏充	河内山宏光

傍聴に行こう!!

◆上記の平生町議会の本会議、各委員会、また全員協議会は傍聴できます。

◆議場と委員会室は、1号棟3階にあります。傍聴を希望される方は、直接3階の議場または、委員会室にお越しください。傍聴届に必要事項を記入後、傍聴席で傍聴できます。

◆1号棟1階の交流室のモニターでも本会議の様子を自由にご覧いただけます。

議会広報広聴調査特別委員会

委員長：原真紀
副委員長：細田留美子
委員：中川裕之
中本敦子
中村一幸
長尾忠明

10月に入って一雨ごとに秋を感じる頃となりました。みなさま、お変わりなくお元気で、お過ごしのことと思います。

今年も暑い夏でした。そんな中でも高校陸上部で頑張っている息子の新人戦の応援へ行きました。その夜は、世界陸上大会5000m女子決勝を観戦。スタート地点には、田中希実選手の姿がありました。町内では、9月27日に平生中学校運動会、10月4日に佐賀小学校運動会が開催され観覧しました。どの選手も子どもたちも目標に向かって挑んでいる姿に感動しました。その姿を見て、私も小さくても目標を持ち、努力を続けようと思いを新たにしました。まずは、味覚の秋なので、食べ過ぎ注意かな。いえいえ、読書の秋。1冊でも多く本を読みます。

原 真紀

編集後記

